様式３(2010.09改)

作成日　平成23年3月20日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373100367
事業所名	グループホーム　野のユリ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	日常的には散歩時に挨拶を交わしたり、敬老会や運動会に参加して地域の方との交流を図っている。市の福祉祭りには入居者の作品を出品している。中学生の体験学習を受け入れており、子ども達とのふれあいを入居者は楽しんでいる。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	2カ月に1回開催し、市担当者、民生委員、家族代表、ホーム職員が参加している。民生委員から、地域と事業所の取り組みについて情報を提供してもらったり、家族からは家族介護についての話がでる等、活発に意見交換している。メンバーからの情報や助言を得て、サービスの質の向上や改善に活かしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	市との連携については、入居者の状況、サービス提供の現状や、事故等の報告をしている。何かあれば相談し協力を得ている。市の介護相談員の訪問が毎月ある。また、市の担当者が出席するグループホーム部会にも参加して情報交換をしている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	家族の面会は多く、月1回は訪問している。その際に、意見や要望を聴いている。クリスマス会を兼ねて家族会を開催し、食事やゲームを楽しんだり家族同士の交流が行われ、親睦を深めている。家族アンケートからも家庭的なホームであるという声が多くあがっている。アンケートから家族の想いを知ることができ、サービスに活かしていきたいと考えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○				

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目２、３、４については１つ以上、外部評価項目６については２つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。